

飼料価格高騰対策事業

R6当初予算額 1,152,895千円

○飼料価格の動向

- ・配合飼料
R3年度第4四半期の83千円/tから、R4年度第3四半期に101千円/tまで急上昇し、R5.10月現在95千円/tと高止まりしている。海上運賃の高騰等によりR6.1月以降に価格上昇の見込み。
- ・輸入粗飼料
R3.8月時点の67千円/tから、R4.11月時点で100千円/tまで上昇した。直近のR5.12月時点においても、89千円/tと価格は高止まりしている。

○今後の見通し

- ・海上運賃が高騰していることから、飼料価格は上昇する見込み。
- ・配合飼料については、国の緊急対策がなくなることから、畜産農家の負担が増加する。
- ・輸入粗飼料は、主な輸入先である米国産の生育が不良であることから、飼料価格が上昇する見込み。

○ 畜産農家の経営は、今後も厳しい状況が継続することが見込まれるため、R6年度も引き続き支援を行う必要がある。

(1) 畜産配合飼料価格高騰対策事業

配合飼料価格等の上昇分に対する補助（畜産関係団体経由）

○対象 配合飼料価格安定制度に加入している
本県畜産農家

○補助単価

- ・第1四半期 : 3,000円/t（定額）
 - ・第2四半期から第4四半期 : 3,000円/t以内※
- ※配合飼料価格の動向を踏まえて、四半期毎に3,000円以内の範囲で設定。

○事業費 1,086,147千円（付帯事務費含む）

○対象期間 R6.4月～R7.3月

(2) 酪農輸入粗飼料価格高騰対策事業

輸入粗飼料価格の上昇分に対する補助（酪農関係団体経由）

○対象 本県酪農家

○補助単価

- ・第1四半期 : 3,000円/t（定額）
 - ・第2四半期から第4四半期 : 3,000円/t以内※
- ※輸入粗飼料価格や乳価の状況を踏まえて、四半期毎に3,000円以内の範囲で設定。

○事業費 66,748千円（付帯事務費含む）

○対象期間 R6.4月～R7.3月